

令和8年度 富士見台ミーティング① 実施報告書

○日時

2026年7月11日（土）14:00～17:00

○場所

国立市役所会議室棟さくらのへや・うめのへや

○参加者

出席者 28 名（うち 1 名は傍聴）

○実施目的

重点エリアの「あるべき姿」を考え、大事にしたいポイントなどについて意見をもらい、土地利用方針の検討に活かすこと

○当日の流れ

国立市より、国立市富士見台地域重点まちづくり構想の策定などこれまでの取組みや、今年度の土地利用検討の進め方などについて説明した。その後の意見交換では、「重点エリアがこうなったら良い！を考えよう」をテーマに、グループごとに土地利用のあるべき姿をつくり「大切にしたい考え方」に関連する大事なポイントを抽出、共有した。

○当日の様子



市長挨拶

- ・日常の買い物など便利な面もある一方で、みんなで集まれる広場や公共施設について様々なニーズがあることを認識している。これまでも多くの声を聞いてきたが、日頃の活動を含めて今後の案をしっかりと作っていきたいと考えている。本日はそのための大切な一歩となる場であり、活発な議論をお願いしたい。



国立市からのオリエンテーション

国立市富士見台地域まちづくり担当より、以下の内容が説明された。

- ・富士見台地域重点エリア（市役所を中心とした公共施設エリア、第2団地、第3団地など）は、緑やコミュニティ、さくら通りなど、魅力が多い地域である。
- ・一方で開発から時間が経過し、公共施設の経年劣化や団地のバリアフリー化などの課題がある。
- ・これらの課題を踏まえ、令和3年に「富士見台地域重点まちづくり構想」を策定し、6つの整備方針と10の重点プロジェクトを設定した。
- ・新たに、健幸まちづくり（ウェルビーイング）の視点を取り入れながら取り組みを進めている。
- ・重点エリアの約13ヘクタールという広大な土地において、団地再生と公共施設の再編をバラバラに行うのではなく、一体的なまちづくりを考える必要がある。
- ・そのために、皆様と「あるべき姿」を共有し、令和8～9年度を目処に市の土地利用方針をまとめた上で、URなどと協議を進めていく予定である。
- ・本日のミーティング以外にも、アンケートや団地居住者向けの座談会、専門家を交えた重点エリア検討会議など、多様な場で意見を伺いながら進めていく。
- ・検討の前提として、既存施設の目標使用年数や都市計画上の制限、また将来的な消防署や保健センターの移転の可能性なども考慮していく必要がある。



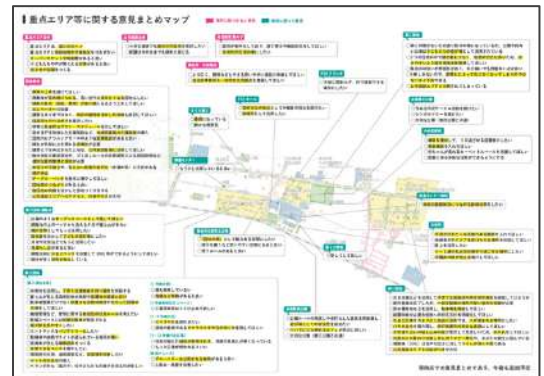
グループワークの記録

■ グループワークの内容

- ・「意見まとめマップ」を確認し、グループ内で現在の重点エリアの魅力や課題を共有する。
- ・次に、ワークシート上に土地利用のパーツ（団地、公共施設、公園など）を自由に配置し、重点エリアの理想の姿を検討する。敷地の所有権や建替えの順番といった制約は一旦考えず、自由な発想で議論を行う。
- ・作成した案をもとにグループ内でシール投票を行い、今後のまちづくりにおいて大事にしたいポイントを抽出して発表する。



△ワークシート



△意見まとめマップ

■ 全体まとめ

グループでの意見交換の結果、重点エリアのあるべき姿の検討を通じて、重点エリアの土地利用に関して、以下の重要な視点を抽出した。

緑やコミュニティといった「既存の魅力」をベースにしつつ、「歩きやすさ」と「施設の集約・複合化」を通じて、**多世代が交流できるウェルビーイングなまちを目指す**という全体の方向性が見えた。

1 既存の魅力（豊かな緑や景観）の保全と活用

- ・多くのグループが、60年かけて育った既存の樹木や緑豊かな環境を維持し、公園や芝生を拡大することを重視していた。
- ・緑の景色を楽しみながら読書や食事ができる空間づくりや、地域の立地特性である富士山の景観を楽しめるテラスの設置など、地域の魅力を最大限に活かす意見が共通して見られた。

2 歩きやすいネットワーク（遊歩道）の整備

- ・安全でゆとりがあり、車椅子やベビーカーでも移動しやすいバリアフリーな「遊歩道」をまちに巡らせることが求められていた。
- ・これにより、まち全体の回遊性を向上させ、人々が歩きたくなる環境を作ることが共通の要素として

挙げられた。

- ・ 国立市の健幸まちづくりや、ウェルビーイングなどのキーワードも出ていた。

3 公共施設・文化拠点の集約と複合化

- ・ 市役所、図書館、子育て支援施設、ホール、アリーナ、プールなどの公的・文化施設をコンパクトに集約し、複合化する案が多くของกลุ่มから出された。
- ・ これによりコスト削減や効率化を図るだけでなく、施設を隣接・併設させることで、多世代が活動し交流できる拠点を形成するという方向性が見えた。
- ・ 重点エリアの文化的な施設が集約している側面を活かし、重点エリアらしい特色のある土地利用をすべき、という意見が出された。

4 多世代が自然に交流できるコミュニティ空間の創出

- ・ 現在ある温かいコミュニティを維持・発展させるための空間づくりも重要視されていた。
- ・ シェアキッチンや、団地 1 階の開かれた店舗、父親同士が交流できる場などをまちの各所に点在させ、市民が自然に出会い交流できる設計が求められていた。

5 子育て世代にとって魅力的な環境づくり

- ・ 子育て世代が転入したくなるまちを目指し、子育て支援施設の充実が共通のテーマとなっていた。
- ・ 図書館と子育て施設の隣接、猛暑でも遊べる屋内施設、保育園と小学校を公園で繋ぐ配置など、子どもと親の双方が快適に過ごせ、親同士の交流も促されるようなアイデアが多く出された。

■ グループ記録

※（ ）内の●/○はグループの意見交換の中で参加者が意見に対して貼った「いいね！」シールとその数

1 G 記録



魅力や課題、まちを良くするアイデア

○公共施設が集積しており使いやすい

- ・市役所、図書館、公園、ホール、アリーナが集積している
- ・公園が連続していて、子どもを遊ばせやすい

○団地内やさくら通りの緑が美しく、散歩が楽しい

- ・団地の植物・花を見ながらの散歩が楽しい
- ・さくら通りの美しさ、緑の多さが魅力

○第四公園の水遊びスポットは良いが、ベンチがあるとより良い

- ・第四公園の水遊びスポットが魅力
- ・木陰、ベンチで人が時間を過ごせると良い

○酷暑対策が必要

- ・外空間の酷暑対応

○コーヒーショップなど気軽に集まれる屋内スペースが少ない

- ・コーヒーショップなど気軽に集まれる屋内スペースが少ない

○子どもを遊ばせる屋内スペースが少ない

- ・ 夏に子どもを遊ばせる屋内スペースが少ない
- ・ 矢川プラスのような子育て支援施設も同じエリアに存在してほしい

○さくら通りの街路樹が老木になってきている

- ・ さくら通りの街路樹に癒されるが、老朽化が気になり始めた

○第三公園の砂埃がひどいので芝をもっと多くしたい

- ・ 第三公園をもう少し芝を多くしてほしい

○中央図書館の集会室を増やしてほしい（●×1）

- ・ 中央図書館の集会室を増やしてほしい

○団地の建替にあたり、若い世代の人たちが入居しやすくなると良い

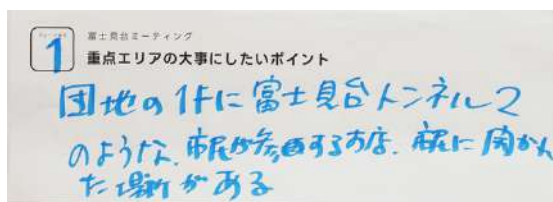
- ・ 団地を建て替えるにあたり、若い世代の方の入居がしやすくなれば良い（●×1）
- ・ あまり高い家賃にならないようにしてほしい

○多世代が交わる場所がほしい

- ・ 高齢者や子どもなど、多世代が交わる場所・しくみがほしい

こうなったらいいな！

子育て世代が転入したくなるような魅力のあるまちに！



- 7

2 G 記録



魅力や課題、まちを良くするアイデア

○団地の中に非居住者が入らないように配慮してほしい

- ・団地の中に非居住者は入ってこないでほしい
- ・利用マナーが悪い

○子どもの声が聞こえる広場は道路沿いにしたい

- ・子どもの声の聞こえる広場は不要
- ・もし作るなら道路沿いに作って音が抜けるような設計にしてほしい
- ・滑り台は不要

○子どもがいないエリアに住める選択肢があると良い

○今ある緑たくさんさんのエリアを継承したい

- ・温暖化
- ・庭のある家の減少
- ・管理コスト面から樹種も大切
- ・中木が良い

○人が集まれて活動できる施設をつくりたい (●×1)

- ・コミュニティ改善
- ・道の駅くにたち
- ・夏場のミストコーナー
- ・パブリックビューイング

○植栽管理など「参加型」のまちの整備のしくみをつくりたい

- ・ボランティア活動活性化

○一体的なエリアとして住まいと公共施設を一緒に考えたい

- ・住まい（老人と若者）と一緒に考える公共施設づくり

○学生が入って来れる、高齢者が住み続けられることが大事

- ・既存住棟は一部残す

○多様性を大切にしたい

○文化施設が集約している国立の特徴を活かす（●×1）

- ・図書館と矢川プラスを複合化したような施設
- ・学校、図書館、ホール、体育館、保育園などの文化施設群が大事（●×1）
- ・小学校を再利用して、広場や図書館の広い部屋にしたい（●×1）

○芝生などくつろげる公園があると良い

- ・国分寺や立川にあるような、芝生などのごろごろ出来るスペースや公園
- ・子どもが自由に遊べる

○サッカーや野球ができる施設があると良い

- ・サッカー少年や野球選手が安価で利用できるスポーツ施設

○富士見台テラスなど富士山が見える場所があると良い

- ・富士見台テラスを高い位置に設ける（●×1）
- ・南武線を高架化すると富士山が見えなくなる

○電線・電波改善（●×1）

- ・携帯電波塔設置
- ・地中線化（無電柱化）
- ・Wi-Fiステーション

○「平べったい土地」を増やすことができれば、文化中心かつ公共中心にできそう

- ・第一団地分譲のように閉じた空間は嫌なので、高層化もあり得る
- ・高層化したら頂部分の一層を市が取得して公開してほしい
- ・高層化すると、平べったい土地（オープンスペース）を増やすことができる
- ・高層化の景観は嫌だが、日照は低層よりも短時間になる

○小学校を統合してそこを学びと防災の拠点にしたい

- ・第五小学校を三小に統合し、一小に引越し、そこを拠点にする

○近隣市から人が来て、お金を落とせるまちを目指す

- ・市全体を見据えながら考える

- ・万願寺含めて近隣市から人が来るようになると良い

○南部地域に道の駅や都立美術館を誘致したい

○文化や学問など、国立独自の魅力あるまちにしたい

- ・立川、府中、国分寺と同じにはしたくない
- ・中央図書館は今より大きくしないと残念

○50年先までの資金計画は維持・保全含めて改修と新築との割り振りが必要

○南武線が高架化するよりは地下化して下北沢のようにしたい

- ・音の問題や暗くなってしまう可能性がある
- ・高架化の使い方次第

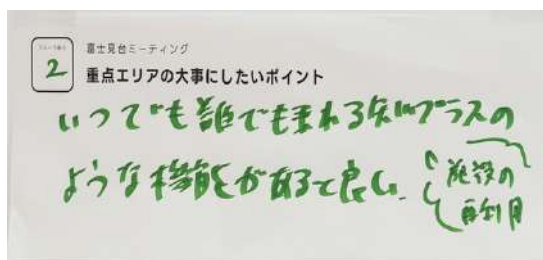
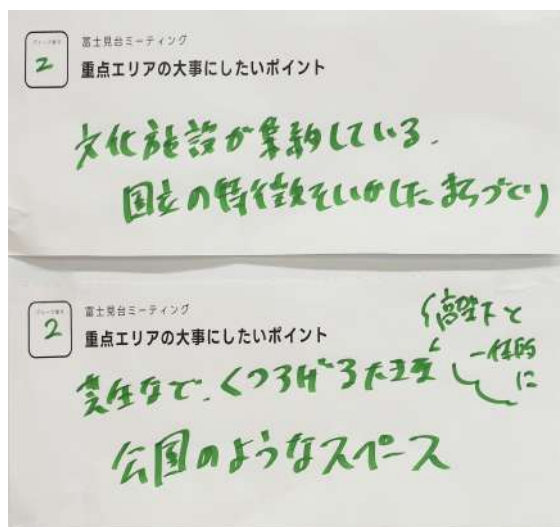
○消防署の配置は中心より周囲に

- ・市内を囲むように配置する

場所に紐づく意見



短冊



- 文化施設が集約している、国立の特徴を活かしたまちづくり
- 芝生など、くつろげる大きな公園のようなスペース
- いつでも誰でも来られる矢川プラスのような機能があると良い



魅力や課題、まちを良くするアイデア

- むっさ 21 に KF（国立富士見台人間環境キーステーション）があり、学生がまちづくりに関わっている
 - ・ KF を通じた多世代交流が素晴らしい
 - ・ 学生がまちに関わっている
- 多世代の交流がある
 - ・ 多世代の人々が気軽に交流できる
- 子どもと遊べる原っぱと並木による日陰がある
 - ・ 緑が多い
 - ・ 緑豊かな空間をエリア全体で維持してほしい
 - ・ 緑豊かな空間が夏の暑さを避けるために大事
- 車が少なく散歩しやすい道がある
- 変化するかもしれない将来のニーズや需要に備えて、多機能化を考えたい
 - ・ 機能の連続、連携が必要
 - ・ 子どもの数なども変わる
- 団地は3つのエリアに分かれてしまっている
 - ・ 区画が不整形なのが問題点

- ・敷地の等価交換をして、不整形な敷地を整形な敷地に変えたい

○第三公園は「グラウンド」のイメージがある

- ・第三公園がグラウンドになっているので、公園としての活用に疑問がある

○さくら通りビエンナーレの彫刻をもっと PR したい

○小学校から学童に行くのにさくら通りを横断する必要がある

- ・第五小学校の学童保育が遠い（●×1）
- ・第五小学校の敷地内に学童も入れたい

○団地の既存住棟を活かしたい

- ・既存住棟を最大限に（再）利用してほしい

○様々な建物が老朽化している

○南武線やドラッグストアなどがあり便利

- ・ドラッグストアストリートが便利
- ・南武線で都心へのアクセスが良い

○建物が老朽化している一方で、便利な環境であることは、今後、若い人が移り住むチャンス

○図書館など、中高生の居場所が少ない

- ・図書館に個々に勉強できる場所がない
- ・図書館が小さく、雨漏りしている
- ・中高生の居場所がない

○富士山を見られる環境をつくりたい

- ・富士見台だけに

○ホールのキャパシティを 300 人から 1000 人に大きくしたい

- ・キャパ 300 の小ホールしかないなので、大ホールがほしい

○国立のヘソとして、南部地域とのつながりを強めたい

- ・国立市の「ヘソ」として、南武線高架化を見据え、南部地域に開いたしつらえを考えたい
- ・バリアフリーのルートが必須

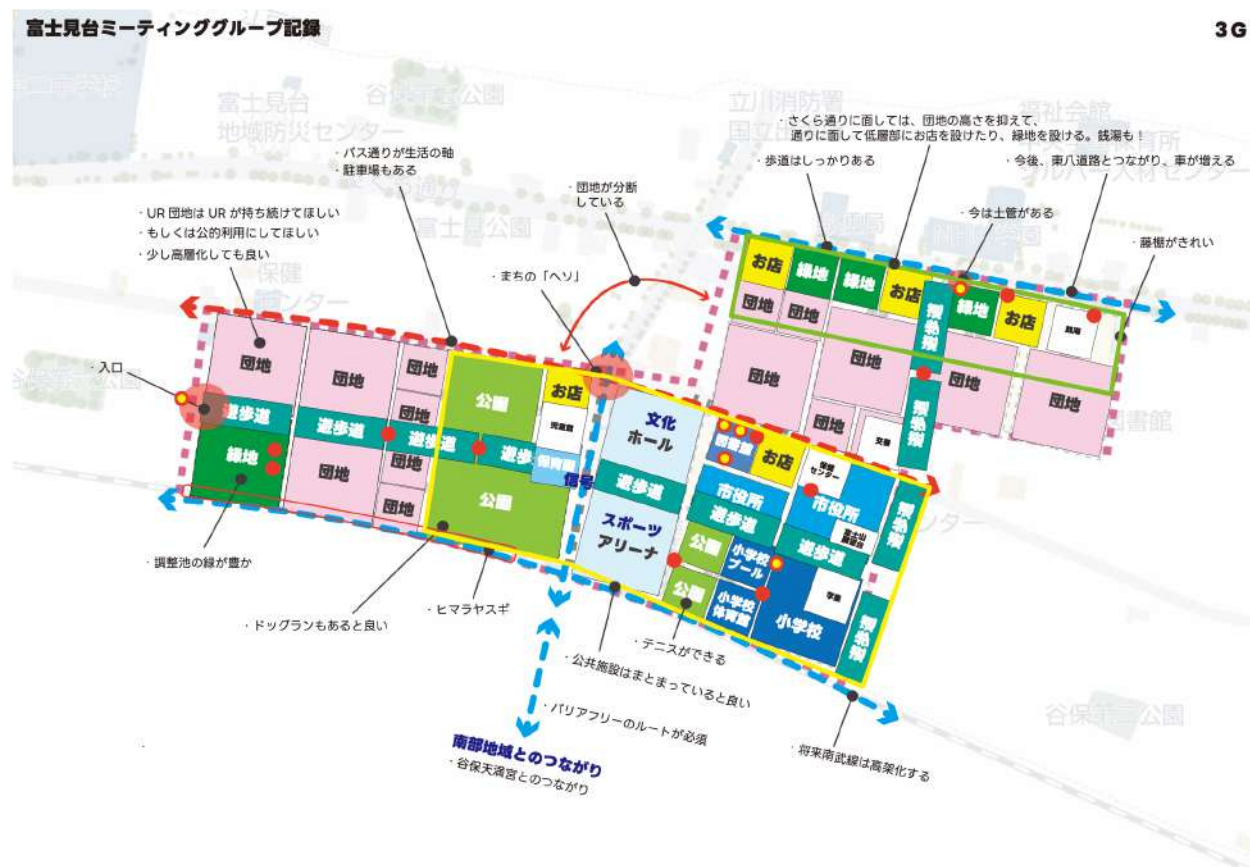
○谷保天満宮への参道を立派にしたい

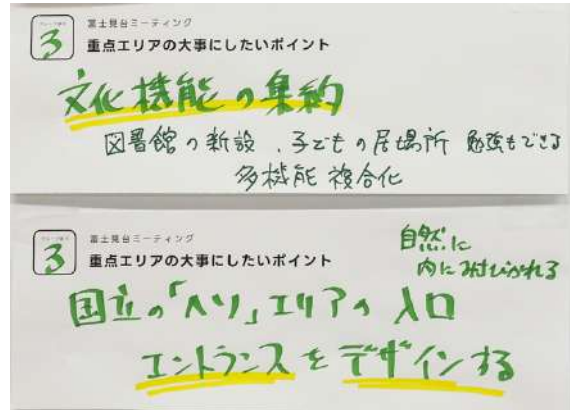
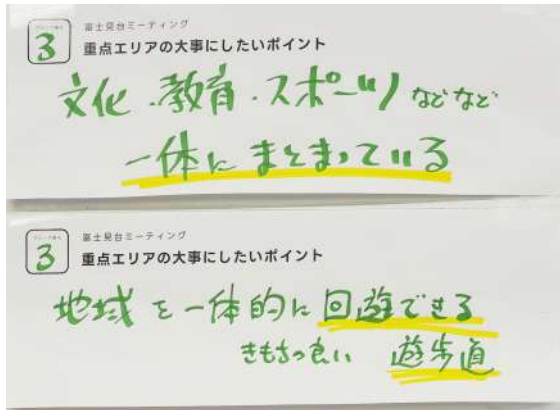
- ・谷保天満宮への参道を歩道に

○公園などを使って仮設なしで建替えられると良い

○UR 団地の将来は、UR が持ち続けるか公的利用が良い

- ・少し高層化しても良い。高層化することによりオープンスペースを生み出せる。





- 文化・教育・スポーツなどの機能が一体にまとまっている
- 地域を一体的に回遊できる気持ちの良い遊歩道
- 文化機能を集約したい
 - ・図書館の新設
 - ・子どもの居場所になる
 - ・勉強もできる
 - ・多機能複合化
- 国立の「ヘソ」エリアのエントランスを魅力的にデザインする
 - ・自然と内に導かれるデザイン

4 G 記録



魅力や課題、まちをよくするアイデア

- 建物の配置やしかりで公共施設を訪れる人と子どもたちとの時間が共有できると良い**
 - ・図書館や市役所を訪れた人と第五小学校の子どもたちが時間を共有するしくみができると良い
- 第2・3団地やさくら通りにある高木を残していけると良い**
 - ・団地の背の高い樹木。夏でも涼しいから残したい
 - ・さくら通りや団地内のけやきなど樹木の保存
 - ・団地に緑が多い
 - ・第2・3団地
- 第3団地の調整池がある西側ににぎわいをつくる**
 - ・3団地西側のにぎわいをつくりたい
 - ・第3団地の調整池を人が集まってなにかする場所に整備したい
 - ・人が集まる
 - ・お店がある
- 第3団地の西側の緑地や公共施設と連携した、南武線の高架の下を活用をする**
 - ・南武線が高架化した場合の公共施設との連携
 - ・緑地との連携
 - ・高架化下の活用
- 人通りが多いところにベンチがあると良い**
 - ・公園以外にも移動中に座って憩えるベンチや東屋があると良い

○気軽に立ち寄れる場が各所にほしい

- ・暑い夏や寒い冬に気軽に立ち寄れる場を各所に

○未就学児や中高生などがふらっと立ち寄れる公共施設がない

- ・ふらっと立ち寄る公共施設がない

○子どもから高齢者まで交流できる場があると良い

- ・子どもから高齢者まで交流できる「ひらや照らす」のような場

○市役所の食堂がまた地域に開放されると良い

- ・市役所の食堂を地域の方の活躍できるカフェ、食堂にしてみてもどうか
- ・以前は市役所の食堂が開放されていたが、今はされていない

○まち歩きなど多様な世代と交流・意見交換できる機会があると良い

- ・まちあるきなど色々な世代で知り合い、意見交換できる機会を

○公共施設が古くても人が集まって、活用されている

- ・公共施設が古いけど多く集まっている

○ホールとアリーナ、公園を連携して、一体的に活用したい

- ・ホール、アリーナ、公園を使ったお祭りがあると良い
- ・5月のファミリーフェス、秋の色々なお祭りなど

○第五小学校と学童は同じ場所にあると良い

- ・第五小学校と学童保育所は一つの場所
- ・今は離れており、さくら通りを渡るところが危ないと感じる

○保育園をもっと地域に開いてほしい

○小学校のプールを活用しきれていないため、アリーナのプールと共用にする

- ・小学校のプールは必要？
- ・第五小学校のプールは気温などの理由からうまく使えていないのでアリーナと共用にしてはどうか
- ・アリーナのプールは深いから小学生は使えないかもしれない
- ・簀を設置すれば小学生でも活用できるかもしれない

緑を残す
遊歩道から市役所に心地よくアクセスができる
緑があると心が安らぐ

・緑のなかの図書館
・図書館を広くする
・市民がくつろげる増、居場所になる
・文化的な場にする

・子どもが通るとき危ない
・歩行者用の信号がない方向がある
・自転車の信号がどちらかわからない

・セットバックして第2団地の歩道を広げる
・ベンチで休みながら歩ける
・安全に逃れる

・横断歩道が渡りやすくなると良い

・さえきがある
・お店

・線路から離れた場所に配置する

・団地の木を活かして本館を歩けるようにする
・遊歩道で憩いをする
・あるものを活かす
・何十年もかけて育った木を大切にしたい

・消防署は通りの近くに配置して出動しやすくする
・市役所の近く配置する

・なるべく残せるものは残す

・第3団地の西側ににぎわいをつくる
・市役所機能を1階に設け連携を図る
・市役所が気軽に立ち寄れる場になる
・公共施設の一体感が生まれる

・コンビニ

・一体的に活用できるようにしたい

・防災拠点として高架下と連携する
・貨物列車が通過するとき、線路がうるさい

・アリーナと小学校プールを共用にし、コストダウン
・少しでも財政の負担を軽くする
・合理的に無駄をなくす

・バスルート

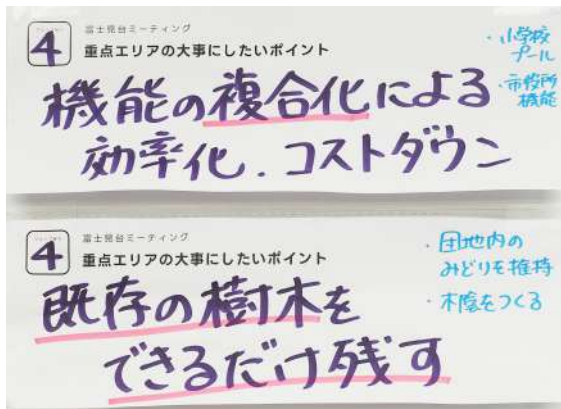
・公共要素のあるお店にする
・人が交流するきっかけの場所
・日替わりで店主が変わっても良い

・地域に開いた保育園
・まちとの一体感があると良い

全体

- ・既存樹木をできるだけ残す
- ・歩いて楽しい遊歩道
- ・公共施設までアクセスしやすい

4G



○機能の複合化による効率化・コストダウン

- ・ 小学校のプールをアリーナと共用する
- ・ 市役所機能を団地の1階に入れる

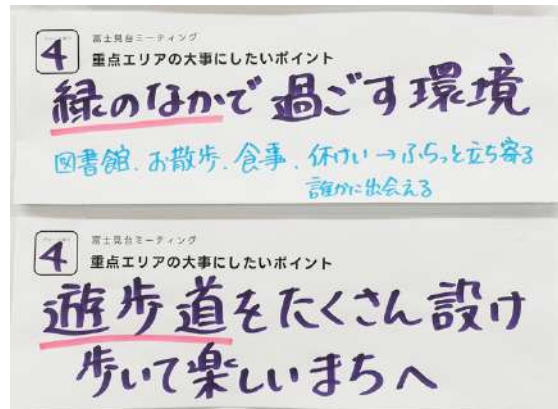
○既存の樹木をできるだけ残す

- ・ 団地内や周辺の緑を維持する
- ・ 木陰をつくる

○緑のなかで過ごす環境を多く整える

- ・ 図書館
- ・ お散歩
- ・ 食事
- ・ 休憩にふらっと立ち寄る
- ・ 誰かに出会える

○遊歩道をたくさん設け歩いて楽しいまちへ





魅力や課題、まちを良くするアイデア

○団地の自治力や団結力が魅力

- ・この規模だから実現できる団地の自治の力

○人が集まれる場がまちに点在していたら良い

- ・たまり場になるような回遊型の魅力ある施設
- ・ベンチで将棋や井戸端会議
- ・団地の緑側のような場がたくさんあると良い

○緑地・広場などでちょっとご飯やお茶できるテーブルがあると良い

- ・第3団地東側の緑地にはテーブルがあり、ちょっとしたご飯やお茶ができる

○キッチンカーやちょっとした飲食販売などがもっと来られて、飲食ができる場所があると良い

- ・フードカー、シェアキッチンのような小さめの飲食機能
- ・子どもとでかける場になる
- ・地域の人と出会う・交流するきっかけや場にもなる

○団地の大木など涼しく感じる緑を大切にしたい

- ・団地の大木の魅力
- ・道を歩いていて暑く感じるので、木陰が大切

○緑が多く、夏休みに子どもが涼しく過ごせていくだけでも遊べる

- ・ 第四公園（ゴリラ公園）の水が出るところ

○ゴリラ公園の噴水のように、今後も水に触れられる小川があると心の豊かさにつながる

- ・ 谷保エリアのように小川や水があると良い

○景観が良いなど、低層の魅力がある

- ・ 低層（5階まで）の団地
- ・ 景観が良く、落ち着きがある
- ・ 住宅が住みやすくなること、使いやすい機能が備わって改善することは大事
- ・ 防災面でもエレベーターが止まってしまっても5階程度なら上り下りできる。高層化した場合、高層階は大変になる
- ・ 低層であれば、建て替えのコストも抑えられる

○道路が広くて歩きやすく、高齢者にやさしい街並み

- ・ 道路が広くて歩きやすい
- ・ 高齢者にやさしい街並み

○どのような人でも自由に暮らせるための意識を守り、他の施設にも広げたい

- ・ 障がいのある人は市役所に相談できることが心強い
- ・ 他の施設でもそのような視点を盛り込めると良い
- ・ 子どもが自由に過ごせることが大事
- ・ 第二小学校のように、バリアフリーの学校に。建て替えの際に改善できると良い

○インクルーシブバリアフリー公園は本当に当事者に使われているかわからない

○普段から通る道もベビーカーや車椅子などが通れるようバリアフリーに

- ・ 道路わきの段差
- ・ 車椅子でバス停での乗り降りができない

○様々な機能が充実している

- ・ 店、施設が集中している

○全ていきなりではなく、時間をかけてゆっくり全体的に改善していく必要がある

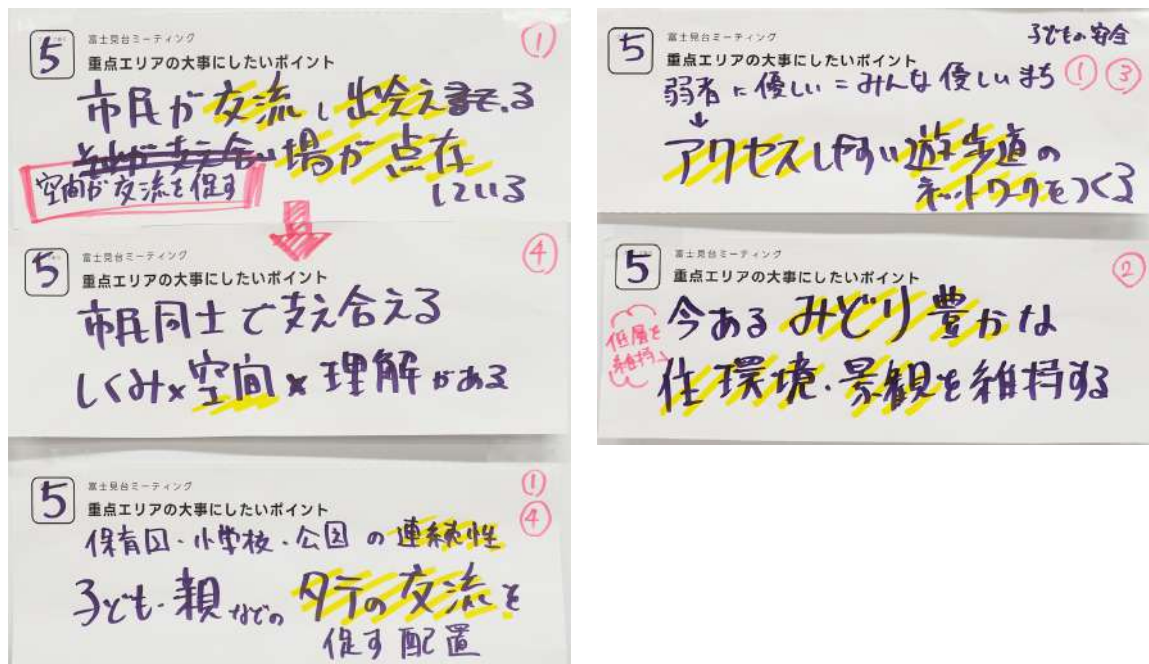
こうなったらいいな！

①人が交流して出会える場が点在している

②みどりや川が豊かで、夏も涼しく子どもが外で遊べて心の豊かさにつながる

③どのような人でも暮らしやすい、優しいまちへ

- ・ 障がいのある人や弱者に優しいまちは、皆に優しいまち
- ・ バリアフリー



- 市民が交流し出会う場が点在しているなど、市民の交流を後押しする空間がたくさんある
- 市民同士で支え合えるしくみ・空間があり、それがさまざまな人への理解にもつながる
- 子ども-親などのタテの交流を促す、保育園・小学校・公園の連続的な配置
- 今ある緑豊かな住環境・景観を維持する
 - ・低層を維持する
- アクセスしやすい遊歩道のネットワークをつくる
 - ・弱者に優しく、みんなに優しいまち
 - ・子どもの安全